

プラス1

～いつもの支援を一工夫～

岐阜県立東濃特別支援学校

地域支援センター通信

No. 66 (R8年7月)

こんにちは！東濃特別支援学校 地域支援センターです。

地域支援センター通信『プラス1』は、センター的機能充実事業の一環として発行しています。先生方の実践に役立つ情報を提供していきます。
どうぞよろしくお願いいたします。

東濃特別支援学校では、「センター的機能」として以下の項目を実施しています。

相談支援

障がいのある幼児・児童・生徒の担任・担当の先生方や保護者の方からの相談に応じて、支援の方法や就学・進学などについて助言や情報提供をします。

- ・知的障がい、発達障がい、肢体不自由などへの教育的配慮や学習支援についての相談
- ・慢性疾患や心身症などによる学習困難についての相談・支援
- ・登校しぶり、不登校への相談・支援

訪問支援

依頼に応じて幼稚園や学校に職員が訪問して具体的な指導・支援の方法や対応について助言や情報提供をします。

- ・授業や活動の参観を通した相談や助言
- ・支援会議、ケース会議への職員派遣
- ・幼→小、小→中、中→高における連携会議への職員派遣
- ・発達に関する相談会への職員派遣

教材・教具の紹介 教材備品の貸し出し

教材・教具の紹介や情報提供をします。必要に応じて教材・教具や検査用具などの貸し出しをします。

- ・手づくり教材や支援グッズの紹介
- ・教材教具や支援グッズ、書籍などに関する情報提供
- ・教材備品の貸し出し
- ・発達検査用具の貸し出し（WISC-IV知能検査、DN-CAS 認知評価システムなど）

研修支援

校内研修会などへの講師派遣や要請に応じた研修の提供など、研修のお手伝いをします。

- ・特別支援教育に関する職員研修会への参画および講師派遣
- ・学級経営や授業改善などの校内研究への協力
- ・特別支援教育について保護者や児童生徒への理解啓発にかかわる協力
- ・東濃特別支援学校の見学や体験授業の設定

アイデア教材ご紹介

～気持ちや思いを伝える支援～ 「1日振り返りカード」



当校では、職員が児童生徒への支援のために教材・教具を創意工夫して製作しています。

教材教具の工夫は、単に「分かりやすくなる」だけではなく、児童生徒たちが「できた」「わかった」「やってみよう」を引き出すことにつながります！

今回は、気持ちや思いを伝えるときに使用できる教材を紹介します！！



材料：ミニホワイトボード、イラストカード、磁石

ポイント：枠に合わせてイラストカードを選んでいくことで、1日の振り返りが文章で表現できるようになっています。

1日の楽しかったことなどを発表する際に振り返るきっかけがつかめない児童生徒や何をどう伝えたらいいのかわからない場合におすすめです

～気持ちや思いを伝える支援 PART 2～

「気持ち整理カード」



材料：ヒントカード、ラミネート

ポイント：気持ちの整理をしたり、1日の振り返り日記を書いたりするときに、ヒントとして使うカード集です。自分の表現したい気持ちに近いものを選んで使用できるようになっています。それ以外にも、言いたいことをうまく伝えることが苦手な生徒が自分の気持ちを表したり、発表したりする場面でも活用できます。

学習面や行動面で気になる幼児、児童、生徒についての相談や訪問支援、職員研修のご依頼はこちらまで
岐阜県立東濃特別支援学校 地域支援センター 土谷幸子

電話：0572-55-4821 FAX：0572-55-4829

